

農村の風景（四季耕作図屏風）



* 安部家文書1526
「四季耕作図」



解説

一年間の農作業風景を四季の風物とともに描いた四季耕作図は、その年の豊作を予想させる大変お目でたい絵として全国各地で描かれました。

写真は山口の町人安部家に伝えられた「四季耕作図屏風」です。八曲一双の大作で、長府藩の御用絵師笹山養意の作品です。作成年代は不明ですが、1835（天保6）年の同家の道具帳に記載があります。

屏風には、画面右側から、浸種・苗代づくり・耕起・代かき・苗取・弁当運び・田植・竜骨車による揚水・草取・稲刈・結束・稲束運び・脱穀・粃摺・俵詰・倉入れなど年間の一連の農作業が描かれています。

また庶民の生き生きとした表情が印象的で、右隻には一年の豊作を祈っての獅子舞・猿回し・人形遣いと、それを楽しそうに見る人々の姿が描かれ、左隻には収穫を喜ぶ踊りや飲酒する人々の様子が描かれています。